

診療局：内科《総合内科・感染症内科》

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
総合内科・感染症内科部長 兼感染症センター長 兼院内感染対策室長兼産業医	倭 正也
膠原病内科部長 兼リウマチセンター長	入交 重雄
医 長	葛城 有希子
医 員	岩井 優美

総合内科・感染症内科

—概要—

現在の医療は高度の専門化が進んでいる一方で、様々な病気を併せ持つ患者に対して「全人的医療」を行うことのできる医師が少なくなっている。そこで当院では2013年4月より総合内科・感染症内科を新たに立ち上げ、診断のついていない症状ではじめて当院を受診され、どの専門科を受診すればよいかわかりにくい患者に対して、専門分野を横断的に診療する幅広い総合診療を行っている。さらにその際に感染症および膠原病の診療を行う機会も多く、これも当科にて診療を行っている。

具体的には、一般内科疾患全般(内科救急疾患を含む)をはじめ原因不明の持続する発熱(不明熱)、関節痛などといった症状を持たれた患者の外来、入院診療を行っている。またその際に、高度な専門医療を要する場合には適切な各専門科に紹介させていただいている。さらに、当科以外の各専門科において入院治療を要する患者に対しても、専門科と良好なコミュニケーションを保ち、多角的に相互補完するバランスのとれたチーム医療を実践し、患者の全身管理のサポートを行っている。

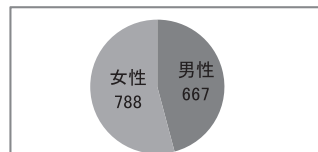
また、輸入感染症の診療も当科の重要な任務の1つである。特に当院は、厚生労働大臣指定の我が国で4か所の特定感染症指定医療機関の1つであり、西日本では唯一である。当科にて感染症センターに入院された患者の診療を行っている。

2013年4月、りんくう総合医療センターと泉州救命救急センターがひとつの病院として統合した。救命救急センターとの相互連携を深め、救急医療を含む総合診療と高度な専門医療とが多角的に相互補完する、これからの地域医療を支える新たな診療体系の構築を目標に、総合診療の強化を目指している。

—実績—

◆外来初診患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	66	52	60	55	63	48	47	44	38	82	47	65	667
女性	67	71	83	67	61	52	64	64	65	74	66	54	788
合計	133	123	143	122	124	100	111	108	103	156	113	119	1,455



◆入院患者数

新入院患者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6	10	6	10	13	5	9	3	6	4	3	4	79

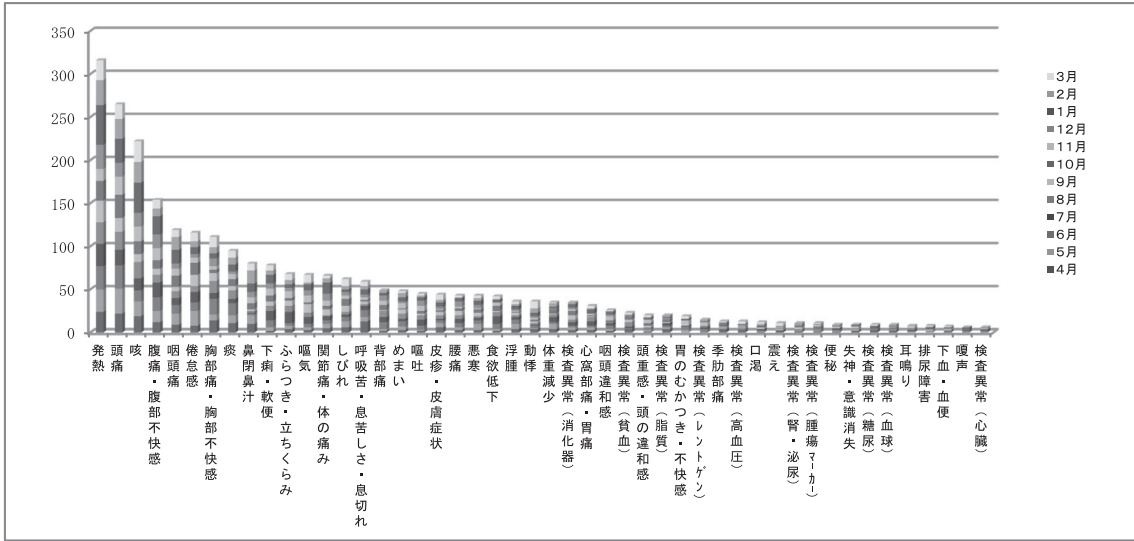
延べ入院患者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
209	224	240	162	210	134	167	240	194	292	144	181	2,397

初診時主訴数一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
発熱	24	26	27	26	25	25	23	14	28	46	29	23	316
頭痛	22	29	27	18	21	16	27	21	16	28	23	17	265
咳	19	17	13	14	19	9	15	17	16	35	24	24	222
腹痛・腹部不快感	12	13	16	17	9	7	10	14	16	21	9	10	154
咽頭痛	9	13	10	8	8	5	13	8	6	16	15	8	119
倦怠感	8	17	10	12	7	13	14	6	4	8	7	10	116
胸部痛・胸部不快感	14	7	18	7	14	9	4	4	9	6	7	12	111
痰	11	9	14	5	10	5	8	6	3	8	8	8	95
鼻閉鼻汁	10	10	2	1	2	2	7	7	6	10	15	8	80
下痢・軟便	2	4	8	11	6	5	7	8	6	10	5	6	78
ふらつき・立ちくらみ	4	4	3	13	7	6	3	8	4	4	5	7	68
嘔気	3	3	4	8	5	10	2	8	6	7	2	9	67
関節痛・体の痛み	5	5	4	5	1	7	4	6	8	13	5	3	66
しびれ	6	7	5	3	3	7	8	4	4	3	4	8	62
呼吸苦・息苦しさ・息切れ	13	5	8	5	2	3	2	3	3	6	4	5	59
背部痛	2	2	8	6	7	1	6	5	6	3	3	0	49
めまい	3	4	6	3	6	5	1	6	2	5	5	2	48
嘔吐	2	1	5	7	5	2	3	6	6	4	2	2	45
皮疹・皮膚症状	6	5	3	2	4	4	2	1	3	5	3	6	44
腰痛	3	3	5	5	4	5	3	2	6	4	1	2	43
悪寒	3	7	4	3	2	4	4	1	4	5	3	3	43
食欲低下	2	2	6	9	5	1	6	4	0	3	1	3	42
浮腫	4	6	5	3	2	3	1	1	2	4	2	3	36
動悸	4	1	3	1	2	2	2	2	2	4	5	8	36
体重減少	4	6	2	6	3	1	5	0	1	2	4	1	35
検査異常(消化器)	3	3	2	4	3	5	5	2	2	4	2	0	35
心窩部痛・胃痛	3	3	2	5	5	1	1	2	0	5	1	3	31
咽頭違和感	2	2	4	3	1	0	2	5	2	3	1	1	26
検査異常(貧血)	4	0	1	2	5	3	4	0	2	0	0	2	23
頭重感・頭の違和感	1	2	2	0	1	2	3	4	0	2	1	2	20
検査異常(脂質)	4	2	2	3	0	1	3	0	2	1	2	0	20
胃のむかつき・不快感	0	3	4	1	0	2	0	4	0	2	0	3	19
検査異常(レントゲン)	0	0	4	2	2	2	0	2	0	1	2	0	15
季肋部痛	4	3	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	13
検査異常(高血圧)	3	0	2	0	0	1	1	1	1	1	0	3	13
口渴	1	1	0	2	0	0	0	2	0	2	2	2	12
震え	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	3	3	11
検査異常(腎・泌尿)	1	0	0	0	3	2	2	0	1	0	2	0	11
検査異常(腫瘍マーカー)	1	1	1	0	1	0	3	2	1	0	0	1	11
便秘	1	1	1	2	0	2	1	0	0	0	1	0	9
失神・意識消失	2	2	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	9
検査異常(糖尿)	3	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	1	9
検査異常(血球)	2	0	1	0	1	0	2	1	0	1	1	0	9
耳鳴り	0	1	0	2	1	0	1	3	0	0	0	0	8
排尿障害	0	1	1	0	0	1	0	0	1	2	1	1	8
下血・血便	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1	7
嘔声	0	0	2	1	0	0	1	0	0	2	0	0	6

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
検査異常(心臓)	0	0	2	1	0	0	1	1	1	0	0	0	6
肩こり	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
血痰・吐血	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
検査異常(甲状腺)	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
嚥下困難感	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
検査異常(尿酸)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2



A 循環器系	C 消化器系	D 腎泌尿器系	F 自己免疫	I 精神疾患	N 感染症	O 皮膚
高血圧症 32	大腸ポリープ 6	尿路結石 8	リウマチ性多発筋痛症 4	自律神経失調症 3	感冒・上気道炎 72	口唇ヘルペス 3
心不全 8	胃潰瘍 1	過活動膀胱 1	関節リウマチ 1	うつ 1	インフルエンザ 24	アレルギー性湿疹 1
不安定狭心症 1	痔核 4	腎結石症 3	全身性皮膚硬化 1	周期性嘔吐症 1	急性副鼻腔炎 5	脂漏性湿疹 1
動脈硬化症 2	アルコール性肝障害 1	膀胱炎 3	型全身強皮症 1	薬剤副作用 2	咽喉炎 18	その他
深部静脈血栓症 1	胆石症 2	腎機能低下 3	好酸球性血管浮腫 1	薬剤性肝障害 3	ウイルス性 2	起立性調節障害 4
心房細動 2	胃ポリープ 8	後天性腎盂尿管移行部狭窄症 1	自己炎症性疾患 1	薬剤性皮膚疹 3	細菌性 1	熱中症 1
洞性細動 1	Eピロリ菌肝炎 1	行部狭窄症 1	ANCA関連血管炎 1	薬剤熱 1	真菌性 9	脱水症 13
上室性期外収縮 1	胆嚢炎 4	ネフローゼ症候群 1	ANCA関連血管炎 1	薬剤性アレルギー 2	原腸感染症 15	好中球減少性発熱症 1
房室ブロック 1	ピロリ菌感染症 8	腎盂腎炎 6	G 筋骨格系	薬剤性頭痛 1	肺炎 48	発熱性好中球減少症 1
大動脈瘤 2	逆流性食道炎 14	ナツクワラカー症候群 1	肋間神経痛 3	薬剤性肝障害 1	腸管性肺炎 3	先天性好中球減少症 1
大動脈解離 1	胆嚢ポリープ 1	高カリウム血症 1	腰痛椎間板ヘルニア 1	食物アレルギー(カニ) 1	マイコプラズマ肺炎 1	子宮頸管炎 1
大動脈狭窄症 1	十二指腸炎 2	E 脳神経系	肋軟骨炎 2	アナフィラキシーショック 1	腸管性肺炎 1	腸管性浮腫 1
心臓腫瘍 1	十二指腸潰瘍 1	片頭痛 5	手根管症候群 1	アレルギー性鼻炎 2	腸管球菌肺炎 4	精巣上体炎 1
B 呼吸器系	胆嚢炎 1	緊張性頭痛 4	頸椎症性神経根症 1	L 癌・腫瘍	腸管性肺炎球菌肺炎 1	低たんぱく血症 1
気管支炎 13	胆嚢炎 1	緊張性頭痛 4	骨髄 1	胃癌 5	インフルエンザ併発肺炎 1	メニエール病 1
慢性咳嗽 39	腸管炎 1	緊張性頭痛 4	腰痛すべり症 2	肺癌 6	伝染性単核球症 7	睡眠時無呼吸症候群 1
遷延性 10	腸閉塞 1	脳梗塞 7	右置後骨頭周囲腫瘍 1	腎癌 1	帯状疱疹 9	初発 4
アレルギー性 2	肺のう胞 1	無症候性脳梗塞 1	弾指指 1	肺癌 1	先天性梅毒 1	慢性ヘルニア 5
喘息 7	大腸炎 1	多発性脳梗塞 2	肋骨骨折 1	肺癌 4	梅毒 11	原発性癌腫性腫瘍 1
肺炎腫 2	肝腫瘍 1	脳出血 1	頸椎痛風 1	肺癌 1	急性胃腸炎 52	
気管支拡張症 5	胃炎 36	末梢神経障害 1	胸鎖関節炎 1	甲狀腺癌 2	カンピロバクター 6	
気道過敏症 1	慢性胃腸炎 1	顔面麻痺 1	変形性腰痛症 1	甲狀腺腫 2	サルモネラ菌感染症 1	
気胸 3	慢性胃腸炎・薬物性胃腸炎 27	腸管硬化症 2	膝関節炎 1	副甲狀腺腫 1	マイコプラズマ感染症 2	
肺化膿症 1	びらん性胃腸炎 2	斜頸 1	尺骨神経麻痺 1	胃粘膜下腫瘍 2	アデノウイルス感染症 3	
	食道裂孔ヘルニア 9	脳挫傷 2	H 内分泌・代謝系	前立腺腫瘍 1	悪性胸腺中皮腫 1	
	食道カンジダ症 2	筋萎縮性側索硬化症 1	甲狀腺機能亢進症 6	悪性胸腺中皮腫 1	脳腫瘍 1	
	慢性硬膜下血腫 2	腸管性側索硬化症 1	甲狀腺機能低下症 3	脳腫瘍 1	M 血液・造血器	
	虫垂炎 5	構梗塞 1	糖尿病 12	日本紅斑熱 1	鉄欠乏性貧血 25	
	便秘症 10	ラクナ梗塞 2	痛風 2	悪性リンパ腫 2	リンパ腫 5	
	胆嚢線筋腫症 1	三叉神経痛 1	脂質異常症 20	好中球減少症 2	成人T細胞白血病リンパ腫 1	
	胃粘膜下腫瘍 2	むずむず足症候群 1	高尿酸血症 9	成人T細胞白血病リンパ腫 1		
	大腸腫瘍症 1	一過性全健忘症 1	高コレステロール血症 2			
	脂肪肝 20		亜急性甲狀腺炎 2			
	虚血性大腸炎 1		萎縮性甲狀腺炎 1			
	肛門ポリープ 1		低ナトリウム血症 1			

—今年度の成果と反省点—

他診療科からの特に感染症診療についてのコンサルト件数の増加が認められた。当科医師はICT(Infection Control Team)活動を担っており、その活動については院内感染対策室の項に記載した。さらに、ICU/CCU入室の重症患者については、当科共観とさせていただき、主科の医師と協議し抗菌薬などの治療について検討した。

—来年度への抱負—

引き続き、地域からご紹介などの診断困難症例、不明熱、重症感染症患者の治療に尽力していきたい。また、他診療科とのさらなるコミュニケーションを図り、感染症診療においては適切な抗菌薬使用に努めたい。さらに、講演、学会発表、学術論文の作成など研究活動に一層力を入れていきたい。